

平成 18 年度

事業報告書
決算報告書

自 平成 18 年 4 月 1 日
至 平成 19 年 3 月 31 日

社団法人 日本オーディオ協会

平成 18 年度事業報告書

(平成 18 年 4 月 1 日から平成 19 年 3 月 31 日まで)

本協会は定款の目的に従い、人々が日常的に良い音に接して人間性を豊かにし、生活文化と産業の発展に貢献する立場から、オーディオ及びオーディオ・ビジュアル(以下オーディオ等)に関する調査及び研究、普及および啓発、基準の作成、情報の収集および提供、展示会の開催、人材の育成、内外関係機関等との交流および協力等、本会の目的を達成するために必要な事業を実施しました。

平成 18 年度事業の重点は、広く多くの人達を対象にオーディオ等の基本知識と利用法および最新動向を伝えて一層の普及・啓発を図る目的で会費規則や会報の発行形態等を改め、Web 活用時代に即した情報提供のインフラ整備がほぼ完了し、普及活動の具体化のための普及推進部会を設けて活動策を諮問して視聴体験機会拡大のための情報提供、青少年育成のためのイベント協力等に着手しました。

平成 18 年度に実施した主たる事業は定款第 4 条各号に沿った以下の通りであります。

(第 1 号)オーディオ等に関するソフト、ハード、視聴環境の調査及び研究

普及推進部会を設けて一般者を対象にしたオーディオ等の普及・啓発に必要な事項を審議し、視聴体験機会の拡大、青少年への啓発活動、サラウンドの啓蒙推進をテーマに定め、具体的な普及推進活動に着手しました。また、サラウンド啓蒙のためのホームページの充実に必要な事項の調査を実施して新技術内容を都度紹介し、A&V フェスタにおいては立体音響をテーマとしたセミナーを行い研究最前線の成果紹介に協力しました。

(第 2 号)オーディオ等に関する普及及び啓発

Web 利用の個人賛助会員の入会手続き簡易化と無料化を行い、インターネットを活用したオーディオ等の普及・啓発活動の対象者層の拡大をはかり、ほぼ半年間で 500 名強が入会しました。

前記第 1 号に沿った普及・啓発活動として、「音の日」を中心にして視聴体験のできるショールーム等を紹介し、音の科学への理解を深める小中学生対象のイベントを実施しました。

「音の日」には、聴覚の素晴らしさの啓発活動を行うエッセイストの三宮麻由子氏を「音の匠」として顕彰し、一部の一般紙、ラジオ放送等でも報道され一般者が音への関心を高める活動の一端となりました。

(第 3 号)オーディオ等に関する基準の作成

オーディオエンジニア及び一般カスタマーに向け、再生音の評価や測定に役立つ CD、DVD 等の頒布を行いました。

(第 4 号)オーディオ等に関する情報の収集及び提供

情報提供の迅速化と配布先の拡大を目的として機関誌をメール配信の会報『JAS ジャーナル』に改め、特集号 4 冊、通常号 4 冊を発行しました。これに伴い JAS ホームページの内容を更新しました。JAS ホームページは年間 28 万ページビューの利用があり前年比 1.4 倍となりました。

従来の「マルチチャンネルオーディオ」ホームページを「サラウンド Web」に更新しました。サラウンド Web は検索エンジン対策の効果で年間 66 万ページビューの利用があり前年比 2.3 倍となりました。

(第 5 号)オーディオ等に関する展示会開催

パシフィコ横浜において 9 月 21 日～24 日に展示会「A&V フェスタ 2006」を実施し、多くの出展社と入場者を集め、一般カスタマーを対象としたオーディオ等の最新動向の普及・啓蒙面において大きな役割を果たしました。

(第 6 号)オーディオ等に関する人材の育成

販売店社員や技術者等を対象とする人材育成事業について、ネットの活用やコンファレンスの開催についての事前調査を行いました。

(第 7 号)オーディオ等に関する内外関係機関等との交流及び協力

第 13 回日本プロ音楽録音賞を関連団体と共催して実施し、「音の日」に 3 部門 8 作品の制作技術者を表彰しました。また、オーディオソフトの制作技術向上を目的とするプロフェッショナルオーディオ協議会に参画して 6 月に開催された「映画テレビ技術 2006」に協力しました。

平成 18 年度事業概要

1. オーディオ等に関する、ソフト、ハード、視聴環境の調査及び研究（定款第 4 条第 1 号）

（1）普及推進部会（鹿井 信雄 部会長 ほか 15 名）

普及推進事業として「視聴体験機会の提供」「青少年育成イベント」「サラウンド啓蒙活動」の 3 テーマに重点化して実施することとし、「視聴体験機会の提供」および「青少年育成イベント」に着手し、「サラウンド啓蒙活動」を次年度早々に立ち上げることとした。

普及推進部会開催経緯

第 1 回：平成 18 年 6 月 23 日 出席者 13 名

第 2 回：平成 18 年 9 月 5 日 出席者 8 名

WG 準備会：平成 18 年 9 月 28 日 出席者 5 名（視聴機会の提供について）

第 1 回 WG：平成 18 年 10 月 25 日 出席者 11 名（視聴機会の提供について）

2. オーディオ等に関する普及及び啓発（定款第 4 条第 2 号）

（1）「音の日」記念行事（「音の日」実行委員会 森 芳久 委員長 ほか 5 名）

平成 18 年 12 月 6 日「音の日」に、聴覚の素晴らしさの啓発活動を行うエッセイストの三宮麻由子氏を「音の匠」として顕彰した。顕彰式に続いて三宮氏の記念講演会と、「音の日のつどい」を実施した。

「音の匠」については広報に注力し、放送、一般紙等にも紹介された。

「音の日」実行委員会開催経緯

第 1 回：平成 18 年 8 月 22 日 出席者 6 名

第 2 回：平成 18 年 9 月 21 日 出席者 7 名

第 3 回：平成 18 年 10 月 30 日 出席者 5 名

第 11 回 「音の匠」顕彰式

12 月 6 日（月）16：00～16：20（会場）虎ノ門パストラル本館「葵の間」

聴覚の素晴らしさの啓発活動を行うエッセイストの三宮麻由子氏「音の匠」として顕彰した。また、電波新聞社より受賞者に記念品が贈られた。（参加者）80 名

記念講演会

12 月 6 日（月）16：30～17：30（会場）虎ノ門パストラル本館「葵の間」

小林和男氏（作新学院大学教授・NHK 解説委員）を聞き手役として三宮麻由子氏の講演会を行い三宮氏の音の世界の新鮮さと感覚の鋭さに感銘を受けた。（参加者）120 名

「音の日のつどい」パーティ

12 月 6 日（月）18：00～19：30（会場）虎ノ門パストラル本館「葵の間」

音の匠ならびに同日開催の第 14 回日本プロ音楽録音賞授賞者も参加の「音の日」交流パーティを日本音楽スタジオ協会・日本ミキサー協会・日本レコード協会との共催で実施した。（参加者）170 名

（2）視聴体験キャンペーン

「音の日」を中心にした前後の旬間に、協賛 11 社 15 施設の協力を得て視聴体験ができるショールームや視聴施設を JAS ホームページにて案内し、できるだけ多くの人々にこれらの施設で実体験をしていただく普及活動「音の日旬間体験キャンペーン」を行なった。

なお、視聴体験ができるショールームや視聴施設の最新情報は協会ホームページ「ショールームへ行こう」特設欄にて引き続き提供中である。

（3）青少年向け普及活動

子供のころから音に親しみオーディオに関心を持ってもらう目的で団体や企業と連携した普及活動を開始し、参加者から好評を得ており開催に関心のある団体の参観もあり継続実施を計画中である。

「手作り CD プレーヤー工作教室」

平成 19 年 1 月 13 日 レガス新宿 30 名

主催：(財)新宿区生涯学習財団 協力：ソニーイーエムシーエス(株)浜松テック
「スピーカー実験教室」
平成19年3月24日 レガス新宿 20名
主催：(財)新宿区生涯学習財団 協力：パイオニア(株)・早稲田大学

3. オーディオ等に関する基準の作成 (定款第4条第3号) ソフト委員会 (穴澤 健明 委員長 ほか3名)

オーディオエンジニア及び一般ユーザーに向け、再生音の評価や測定に役立つ CD、DVD-Video、
DVD-Audio 等の頒布を行った。

平成18年度頒布枚数計： 533枚

主な内訳

- CD-1 Audio Test 372枚 □CD-20 Bit Clear Note Selection 31枚
- SQAM 16枚 □DVD-V1 Audio Check(DVD) 72枚
- MLAS-1001~2 14枚 □MLZJ2001~2002 23枚 □DAT(2種類)5巻

4. オーディオ等に関する情報の収集及び提供 (定款第4条第4号)

(1) 会誌の発刊とホームページによる情報提供 (編集委員会 藤本 正熙 委員長 ほか10名)

会誌「JAS ジャーナル」を平成18年4月1日、7月1日、10月1日、平成19年1月1日配信の特集
号4冊、平成18年6月1日、9月1日、12月1日、平成19年3月1日配信の通常号4冊、合計8冊
を刊行した。

編集委員会開催経緯

平成18年6月16日、9月7日、11月3日、平成19年1月26日に開催

JAS ジャーナル特集号のテーマ

平成18年4月号「オーディオ・オーディオビジュアルと住環境」	関連記事	5件
平成18年7月号「原音復興」	関連記事	7件
平成18年10月号「A・AV 機器接続の新動向」	関連記事	6件
平成19年1月号「よい音」	関連記事	5件

(2) 協会ホームページの制作・運用

「会員のページ」へのログイン用IDとパスワード等を整備し、8月17日にJAS ホームページをリニ
ューアルオープンした。

(3) サラウンドホームページの制作・運用

(社)電子情報技術産業協会(JEITA)サラウンドサウンド専門委員会と連携して、同委員会がサラウン
ド表記ガイドラインを作成したのに合わせて従来の「マルチチャンネルオーディオ」ホームページを「サ
ラウンドWeb」に改装し5月1日にリニューアルオープンした。また本ホームページのアクセス数増強
をはかるための検索エンジン対策として2月に「サラウンドかわらばん」を新設した。

JEITA との協議の経緯

平成18年4月26日、5月16日、8月23日、10月19日、11月16日、12月14日、平成19年1
月18日、2月23日、3月16日のJEITA サラウンドサウンド専門委員会に客員として出席してサラ
ウンドWeb の内容更新について協議し、記事更新の活性化策として2月に情報提供者のための書き
込み欄「サラウンドかわらばん」を新設した。また、平成18年度の各月初めにJEITA 宛て月次運用
報告書を提出した。

5. オーディオ等に関する展示会の開催 (定款第4条第5号)

(1) A&V フェスタ2006の開催

(A&V フェスタ2006 実行委員会 栗飯原隆雄委員長 ほか 委員16名)

パシフィコ横浜において9月21日(木)・22日(金)・23日(祝)・24日(日)に展示会「A&V フェスタ2006」

を実施した。

「音と映像のある生活提案」をテーマとして、パシフィコ横浜Dホール、アネックスホールおよび会議室を使用し、趣味性や専門性の高い製品展示やデモ行う「アドバンスステージ」、A・AVの最新動向を伝える「グランドステージ」、初企画の自作オーディオ自慢大会などの「ファンステージ」の会場構成として展開した。

A&V フェスタ 2006 出展社および来場者

出展社 76社・団体

来場者 60,382名

A&V フェスタ 2006 実行委員会開催経緯

平成18年1月11日 第1回実行委員会 平成18年3月9日 第2回実行委員会

平成18年4月11日 第3回実行委員会 平成18年5月23日 第4回実行委員会

平成18年6月27日 第5回実行委員会 平成18年7月28日 第6回実行委員会

平成18年8月25日 第7回実行委員会 平成18年12月1日 第8回実行委員会

この他傘下の各委員会が都度開催された。

企画財務委員会 (委員長 渡邊哲純 ほかに2名) 委員会5回開催

設備委員会 (委員長 江本修 ほかに4名) 委員会6回開催

広報委員会 (委員長 竹口優 ほかに3名) 委員会6回開催

催事委員会 (委員長 佐藤晴重 ほかに2名) 委員会5回開催

委員長会議 3回開催

「A&V フェスタ 2006」記者発表会

平成18年7月5日 大手町・経団連会館9階「クリスタルルーム」

出席 報道関係者 61名

(2) 2007年度 A&V フェスタ 2008 開催の準備

(A&V フェスタ 2008 実行委員会 西 國晴 委員長 ほかに委員 15名)

平成20年2月23日～25日にパシフィコ横浜においてA&V フェスタ 2008を開催するための実行委員会および事務局を発足し、A&V フェスタ 2008 出展募集説明会を開催した。

A&V フェスタ 2008 実行委員会開催経緯

平成18年12月12日 第1回実行委員会 平成18年12月25日 第2回実行委員会

平成19年1月29日 第3回実行委員会 平成19年2月20日 第4回実行委員会

平成19年3月20日 第5回実行委員会 平成19年4月18日 第6回実行委員会

なお、A&V フェスタ 2008 の開催については7月以降、実行委員会および各委員会の正・副委員長による準備会議が発足し、A&V フェスタ 2008 委員会編成に至るまでの諸準備作業を行った。準備のための委員長会議は8回開催された。

A&V フェスタ 2008 会場見学会

平成19年2月13日 パシフィコ横浜 出席者 28名

A&V フェスタ 2008 出展募集説明会

平成19年3月7日 パシフィコ横浜 出席者 52名

6. オーディオ等に関する人材の育成 (定款第4条第6号)

事務局にて販売店社員やカスタマーを対象とするネットワーク活用の教育事業について予備調査を進めた。

7. オーディオ等に関する内外関係機関等との交流及び協力 (定款第4条第7号)

(1) 日本プロ音楽録音賞の共催

第13回日本プロ音楽録音賞を(社)日本音楽スタジオ協会・日本ミキサー協会・(社)日本レコード協会・演奏家権利処理合同機構との共催で実施した。62作品の応募があり、審査で選ばれた最優秀3作品と優秀5作品の合計8作品の録音エンジニアを平成16年12月6日「音の日」に虎ノ門パストラル「マグノ

リア」において表彰した。

(受賞者一覧)

- 部門A (CD パッケージメディア) (以下、作品名・発売元・アルバム番号・受賞者・所属の順)
- (最優秀賞) 「after six」より「after six pm」・paris match・ビクターエンタテインメント(株)
(VICL-61882)・谷田茂(Main Engineer)ビクターエンタテインメント(株)、川崎洋 (Mastering Engineer) FLAIR MASTERING WORKS
- (優秀賞)「交響組曲 機動戦士ガンダム SEED DESTINY」より「Opening 第一章 運命の扉開かれる刻」ロンドンシンフォニーオーケストラ / 佐橋俊彦・ビクターエンタテインメント(株)
(VICL-61830)・ヨシ タムラ(Main Engineer)フリーランス、山崎和重(Mastering Engineer) FLAIR MASTERING WORKS、Andrew Dudman (Assistant Engineer) Abbey Road Studios
田口さゆり(Assistant Engineer) (株)ミキサーズ・ラボ
- (優秀賞)「AZURE」より「AZURE Part - The River Deep」・TATOPANI・Tatopani Music
(TM 003)・高田英男(Main Engineer)ビクターエンタテインメント(株)、袴田剛史(Mastering Engineer) FLAIR MASTERING WORKS、粕谷尚平(Assistant Engineer)ビクターエンタテインメント(株)
- (優秀賞)「Prayer」より「You made it」・角松敏生・(株)BMG JAPAN (BVCR-14032)
川澄伸一(Main Engineer) (株)ミキサーズ・ラボ、北村秀治(Mastering Engineer) (株)オーディオシティー、阿部勝行(Assistant Engineer) (株)ミキサーズ・ラボ
- 部門B (ニューパッケージメディア)
- (最優秀賞)「BIG BAND STAGE」より「Splanky」・角田健一ビッグバンド<DVD-Audio 5.1ch>
(株)ミキサーズ・ラボ (MLZJ-2001~2)・内沼映二(Main Engineer) (株)ミキサーズ・ラボ、田中龍一(Mastering Engineer) (株)ミキサーズ・ラボ、阿部勝行(Assistant Engineer) (株)ミキサーズ・ラボ、山口 桃子(Assistant Engineer)ビクターエンタテインメント(株)
- (優秀賞)「スクロヴァチェフスキのブルックナー」より「ブルックナー 交響曲第7番ホ長調」
指揮：スタニスラフ・スクロヴァチェフスキ 管弦楽：読売日本交響楽団<DVD-Video 5.1ch>
(株)バップ (VPBR-12470)・今村公威(Main Engineer) (株)NTV 映像センター、今村公威(Mastering Engineer)(株)NTV 映像センター、鈴木孝十郎(Second Engineer) (株)NTV 映像センター、三橋浩司(Second Engineer) (株)NTV 映像センター
- 部門C (放送メディア)
- (最優秀賞) S A D A O & C H A R L I E ~再会のとき~「PARKER's MOOD」・渡辺貞夫、チャーリー・マリアーノ・NHK HDTV 2006年3月4日放送 5.1ch・稲田一俊(Main Engineer) NHK 放送技術局 報道技術センター、大塚文彦(Assistant Engineer) NHK 放送技術局 報道技術センター、藤本直樹(Assistant Engineer) NHK 放送技術局 報道技術センター
- (優秀賞) サウンド・ルネッサンス「葉加瀬太郎 Violin Summit 2006」・葉加瀬太郎、奥村愛、功刀丈弘、高嶋ちさ子、古澤巖、NAOTO、柏木広樹、羽毛田丈史、啼鵬・朝日放送(株) HDTV 2006年3月12日放送 5.1ch・岩橋貞成(Main Engineer)朝日放送(株)技術局 制作技術センター、山中康男(Second Engineer)朝日放送(株)技術局 制作技術センター、辻哲士(Second Engineer)朝日放送(株)技術局 制作技術センター、前田雄大(Second Engineer) ザ・シンフォニーホール バランスエンジニア

(2) プロフェッショナルオーディオ協議会への参加

オーディオソフトの制作技術向上を目的とするプロフェッショナルオーディオ協議会(PAS)に参加し、6月6~8日・科学技術館「映画テレビ技術2006」の開催に協力した。

(3) 後援・協賛名義の使用承認

- ・第12回真空管オーディオフエア
- ・オーディオフエスタ・イン・ナゴヤ2007
- ・ハイエンドショウ トウキョウ2006
- ・第7回ホームエンターテイメント産業展
- ・第36回国際電子回路産業展
- ・CEATEC JAPAN 2006

・第13回日本プロ音楽録音賞（協同主催）

8. 総務事項

(1) 通常総会

日時：平成18年6月5日（月） 11:00～12:00

場所：千代田区永田町 トスラブ赤坂

出席者数：正会員 288名（委任状出席者を含む）

議事：第1号議案 平成17年度事業報告の承認を求める件

第2号議案 平成17年度収支決算報告並びに監査報告の承認を求める件

第3号議案 平成18年度事業計画の承認を求める件

第4号議案 平成18年度収支予算の承認を求める件（会費規則新運用案を含む）

第5号議案 役員改選の承認を求める件

(2) 理事会

・日時：平成18年5月22日 15:00-16:30

場所：中央区築地 日本オーディオ協会会議室

出席者数：18名（委任状および代理人出席を含む）

・日時：平成18年6月5日 12:00-12:15

場所：千代田区永田町 トスラブ赤坂

出席者数：25名（委任状および代理人出席を含む）

・日時：平成18年10月2日 15:00-15:15

場所：中央区築地 日本オーディオ協会会議室

出席者数：25名（委任状および代理人出席を含む）

・日時：平成18年12月6日 14:30-14:45

場所：港区虎ノ門パストラル会議室

出席者数：24名（委任状および代理人出席を含む）

・日時：平成19年2月7日 15:00-15:15

場所：中央区築地 日本オーディオ協会会議室

出席者数：24名（委任状および代理人出席を含む）

・日時：平成19年3月28日 15:00-16:00

場所：中央区築地 日本オーディオ協会会議室

出席者数：28名（委任状および代理人出席を含む）

(3) 運営会議

第66回 日時：平成18年5月22日 16:30～17:00

場所：日本オーディオ協会会議室 出席者数：18名

第67回 日時：平成18年10月2日 15:15～17:00

場所：日本オーディオ協会会議室 出席者数：25名

第68回 日時：平成18年12月6日 14:45～15:30

場所：港区虎ノ門パストラル会議室 出席者数：24名

第69回 日時：平成19年2月7日 15:15～16:30

場所：日本オーディオ協会会議室 出席者数：24名

(4) 監事監査

日時：平成18年5月16日 14:00～16:00

場所：日本オーディオ協会会議室

(5) 登記事項

平成18年7月31日 役員登記

- (6) 平成18年度の会員数(平成19年3月31日現在)
正会員 法人会員 31社(うち団体6団体)・個人会員 420名
賛助会員 法人会員 32社・個人会員 538名
- (7) 平成18年度の役員数(平成19年3月31日現在)
理事 30名(うち会長1名、副会長4名、専務理事1名)・監事 2名
- (8) 平成18年度の職員数(平成19年3月31日現在)
5名(うち業務委託1名)
- (9) 表彰等
音の匠 1名
日本プロ音楽録音賞最優秀賞3名、優秀賞5名
- (10) 音の日のつどい
(社)日本レコード協会、(社)日本音楽スタジオ協会、日本ミキサー協会との共催)
日時:平成18年12月6日
場所:虎ノ門パストラル「葵の間」 参加者:170名
- (12) 新春の集い
日時:平成19年1月16日 18:00~20:00
場所:銀座 東武ホテル 龍田の間 参加者:135名

以上